

会派「誠流」の吉田です。今年も残り少なくなってまいりましたが、平成 25 年を締めくくる想いで質問させていただきます。

暑い夏が終わりかけたころ、小矢部市内の各地において豪雨災害に見舞われました。私の携帯電話でも数多くの防災メールを受信したところであります。今年の特徴は台風シーズンを過ぎても災害が発生し続けていることです。まず、現時点における小矢部市の豪雨災害被災状況について（被害地区、被害件数、被害金額）お尋ねします。又、豪雨災害に対する対応、対策についての取り組みを質問させていただきます。

（答弁）

国の災害認定・市単独事業などにより実施しているとのことですが、受益者負担はどれくらいあるのでしょうか。また、中山間地に多発しているのですが、これらの地域では中山間地域等直接支払い交付金や水保全管理支払い交付金制度があります。この制度の交付要件と交付状況をお尋ねします。また、この要件を満たしていない地域はどの程度あるのですか。

（答弁）

市内の中山間地は何故こんなにも弱くなってしまったのだろうかと思うが、いくつか思い当たる点もあります。ひとつには、木材の自由化により木材の市場価格が競争力を失い、森林の手入れが出来なくなった点があげられます。さらに農業機械が大型化したことにより、圃場の地盤が支えきれないこと。米価の下落により、農地や農道・用排水路の維持管理に費用を掛けることが困難になった点などがあります。中山間地のお米は粘りがあっておいしいのですが、この農地を維持していくのは並大抵ではありません。

農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の発生などの農業を取り巻く種々の問題については、特に中山間地域に多いと思われれます。その要因としては、余りにも過疎化が進み、限界集落となるとともに中心になる人がいない事があげられます。（もし、若者がいたとしても、数少ない若者に負担がかかりすぎ、村

を去る現象もあると思う。)このような場所で各種施策が利用出来るのは、施策に明るい行政職員あるいは精力的な中心人物がこの地域に在住していること。又は、行政やJAが施策の実施地域に選定した地域に限られると思います。このような状況で、地域自らが立ち上がり、行政に足を運ばない限り、手は差し伸べられないとすれば、条件の厳しいころから集落は無くなってしまいうでしょう。大切なことは、各種施策が地域にまで浸透すること、その施策のための予算が十分に確保されていること。行政と地域を結び、地域をまとめる手助けのできる人材が必要であると思われます。

政府は農地中間管理機構を設立して農地の集約を図ろうとしています。そして新聞報道では「減反補助金」「転作補助金」「日本型直接支払い」等が議論されています。市内の中山間地では更なる支援措置が必要であると考えております。市当局の見解をお尋ねいたします。

(答弁)

小矢部市でも、このようなことにならないように今のうちから対策を検討して頂くことをお願いいたしまして 質問を終わらせていただきます。

東部産業団地について質問します。

かねてから桜井市長は「アウトレットが来ると小矢部市にとって一石数鳥の効果がある」と発言しておられます。いくつか申し上げますと

- \* 小矢部市の知名度が向上する
- \* 1,000人規模の雇用の創出
- \* 300万人超の交流人口
- \* 周辺での新たな民間開発
  - \* 市の税収増
  - \* 定住人口の増加
- \* 市内での購買機会の増

現状において、担当部署の皆さんは産業団地の造成というハード整備に忙しい毎日だとは思いますが、一石数鳥の効果をどのように発現させていくかが大切であります。9月議会でも「アウトレットモールの集客力を市内の活性化や雇用の創出、定住人口の増加、自主財源の強化につなげてこそ、誘致の成功といえる」と発言させていただきました。桜井市長の答弁は「第6次総合計画後期実施計画の策定を進める中で、財政計画との整合を図り、限られた財源の中で、選択と集中の視点から、より効果的な事業実施に努めてまいりたい」と応えていただきました。まだ具体的な取り組みは言えないのかなと感じたところでありました。後期実施計画のだいぶ具体化してきたようですから、改めてその取り組みをお尋ねします。「一石数鳥の誘致効果の発現に向けて、それぞれの担当部署はどのような取り組みを考えているのか」

一石数鳥の効果をどれだけ発現させることができたかを、検証する為の提案  
「都市データパック」2013年版 東洋経済新報社 に拠れば

日本全国で812の市区（東京都の23区を含む）における順位を系統立て

**住みよさランキング 総合387位**

安心度	362位	人口当りの病床
利便性	723位	〃 小売販売
快適性	666位	〃 下水公園
富裕度	475位	〃 地方税収
住居水準	8位	〃 持家延床

砺波市 9位 高岡市 49位 氷見市 127位 南砺市 427位

**成長力ランキング 総合505位** 人口、世帯数、住宅着工数

砺波市 211位 高岡市 436位 氷見市 324位 南砺市 747位

**民力度ランキング 総合390位** 製造、卸、小売、人口当地方税収

砺波市 43位 高岡市 126位 氷見市 513位 南砺市 212位

**財政健全度ランキング 総合489位** 脱借金、自立性、財政力、財政基盤

砺波市 360位 高岡市 544位 氷見市 633位 南砺市 483位

交流人口300万人の1%を目標に、市内の中心市街地や観光拠点へ誘客し、まちの賑わいを取り戻す。このことを最重要課題と位置づけていただきたい。この点については桜井市長から答弁願います。

また、開業に向けて懸念される課題も多岐に及んでおりますが、アウトレットの誘致をきっかけに、様々な事業展開を後押ししていくことにより、小矢部市に良い結果をもたらすものと思っておりますので、より一層の努力をお願いします。